

ホッとな地域の話題 -新規就農者編-

名前

つるやま
鶴山

こうしん
甲晋



経営の概要

- ※ 地域 沼田町
- ※ 品目 水稻、メロン、醸造用ぶどう
- ※ 就農年月 平成27年1月
- ※ 前職 建設会社代表

就農しようと思ったきっかけ

滋賀県で建設会社を営んでいた際、2ha程度の水田で、仕事の合間に水稻の作付けを行っていた。その後、社会情勢の変化により建設業が不安定になったこと、近隣の大規模農家の成功に刺激を受けたことから、専業農家を目指した。

大規模農業といえば北海道だと考え、北海道の農業担い手センターから紹介を受け、沼田町で第三者継承を希望する水田農業者(15ha)の元で、3年間の研修を経て就農した。

就農してよかったこと・苦労したこと

稲作は販売の見込みが立てやすく、建設会社を経営していた時より安定している。

農機は、継承元農業者と近隣農家とで共同利用されており、ローンも完済されていたため、新たに機械を購入する必要が無く、経営の安定化につながっている。また、肥料や除草剤の使用タイミングなどの判断が難しい時には、継承元農業者が長年の経験に基づく知識を惜しみなく教えてくれたので、大変スムーズに営農できている。

継承元農業者、近隣農家に感謝の気持ちを持ち、積極的に様々な役職を引き受けるなどして、地域に馴染めるよう努力した。

今後の展望

令和元年から醸造用ぶどうの栽培に取り組みはじめた。令和8年には町内に醸造所をつくり、自らワインを醸造したいと考えている。現在、沼田町にはワイナリーが無く味が未知数なので、楽しみである。